



From
the People of Japan



ラオスの多目的避難所

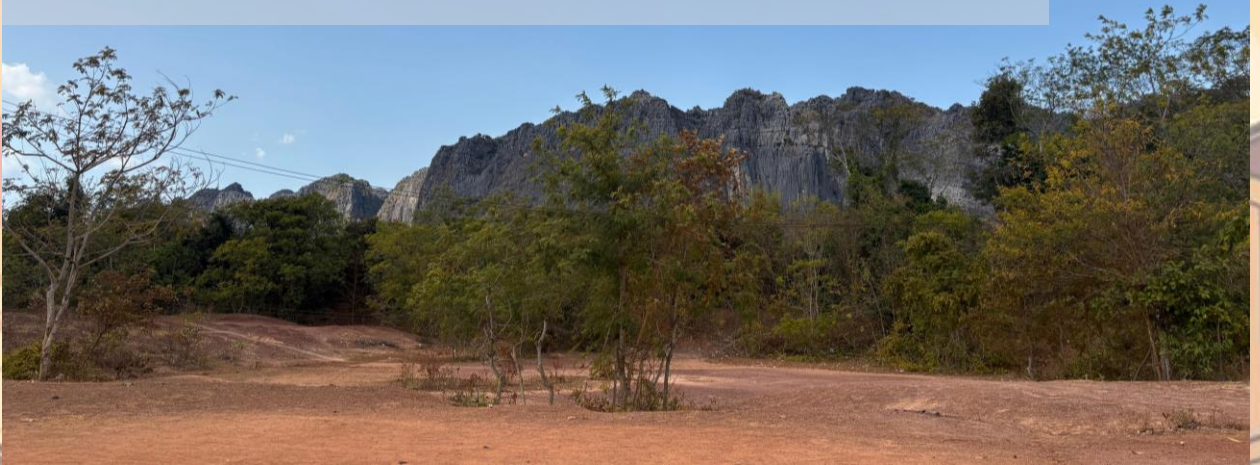
レジリエンスと生活のためのデザイン

日本とラオスの学生・建築分野の大学教授/
専門家を対象とした
建築コンペティション

主催: UNDP・労働社会福祉省
協力: ALACE・ラオス国立大学
資金提供: 日本政府

Contact: Korakot Tanseri, Korakot.tanseri@undp.org (+8562059713920)

プロジェクトについて



プロジェクト:避難所設置プロジェクトによる災害対応強化

ラオス人民民主共和国(Lao PDR)は、その地理的特性から洪水の影響を非常に受けやすく、人口の約39.7%が洪水リスクにさらされており、6番目に洪水が発生しやすい国となっています。財政的な制約が続いているため、政府の災害対応能力が妨げられ、洪水時には遠隔地のコミュニティが孤立し、女性、子供、高齢者、障害者が不釣り合いな影響を受けています。

2022年の危機に先立ち、政府は災害管理法の制定や2021年から2030年までの災害リスク削減に関する国家戦略の採択など、災害リスクガバナンスの進展を遂げていました。それにもかかわらず、不十分な資金、限られた省庁間の調整、非政府組織のアクセシビリティの問題などの課題が、政策の効果的な実施を妨げ続けています。

このプロジェクトは、安全性とプライバシーを優先したインクルーシブなデザインを通じてカムアン州、サラバネ州、シャンパサック州の洪水多発コミュニティの人々の安全保障を強化することを目的としています。

このコンペティションは、コミュニティのオーナーシップを確保および強化し、コミュニティの生活とレジリエンスをサポートする、日常生活の重要なコミュニティハブとして機能する多目的避難シェルターを考案し、概念化することを目的としています。

避難所は、緊急時だけに使用すべきではありません。コミュニティが成長し、出会い、互いに支え合う機会とスペースを提供する場所です。これは、コミュニティの回復を支援するシェルターであり、よりレジリエンスのある持続可能な未来を築くためのスペースです。

日本とラオスの学生や教授が、創造性を発揮して貢献する機会です。参加者は互いに協力し、災害リスク軽減、気候変動、持続可能な建築、持続可能な開発目標など、さまざまなトピックの教授や専門家から学ぶ機会もあります。

ラオスの自然環境について



ラオス人民民主共和国(Lao PDR)は、人口約700万人の東南アジアの内陸国です。タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、中国と国境を接し、総国土面積は約236,800KM²です。メコン川は、全体の長さの60%がラオス人民民主共和国を流れているため、特徴的な景観を持ちます。西側の国境は主にメコン川に沿っており、川の渓谷の肥沃さから農産物が育てやすい土地でもあります。

ラオスには広大な河川網と水路があり、メコン川とその支流から大量の水が流出しており、堆積物が多く含まれています。また、山岳地帯や森林地帯がかなりの割合を占めており、鉄砲水のリスクを高める一因となっています。また、ラオスは南西モンスーンなど、毎年季節的な天候の変動が激しいです。その地理的な位置、土地の特性、モンスーン気候により、自然災害、特に洪水に対して非常に脆弱です。

ラオスでは人口の約39.7%（約299万人）が洪水のリスクにさらされており、188か国の中で6番目に洪水の影響を受けやすい国とされています。さらに、洪水や地滑りによって、不発弾（UXO）の新たな危険にさらされるリスクも高まります。もともとラオスはUXOの汚染が深刻で、全国の村の約25%がその影響を受けています。

このプロジェクトは、人口が1,483,017人(カムアン川:392,052人、サラバネ:396,942人、シャンパサック:694,023人)の中南部の3つの州に12の避難所を建設することを目的としています。(2015年に実施された最新の国勢調査より)

これらの地域はメコン川とその支流であるセバンファイ川やセドン川から毎年洪水被害を受けています。2022年と2023年には、3つの省で発生した洪水による被害により、7,180億LK(49億7,000万円)以上が失われました。



コンペティションについて

サイトについて：

このコンペティションは、複数の場所で建設可能な多目的避難所の設計が目的のため、特定の建設地は指定されていません。ただし、コンペティションではファイナリストがカムアン州ノンボク地区のナンプー村の1つに連れて行かれるため、参加者はサイト訪問場所に基づいた標準的なプロットで作業します。これにより、すべての設計が同じ基準で比較および評価されるようになります。

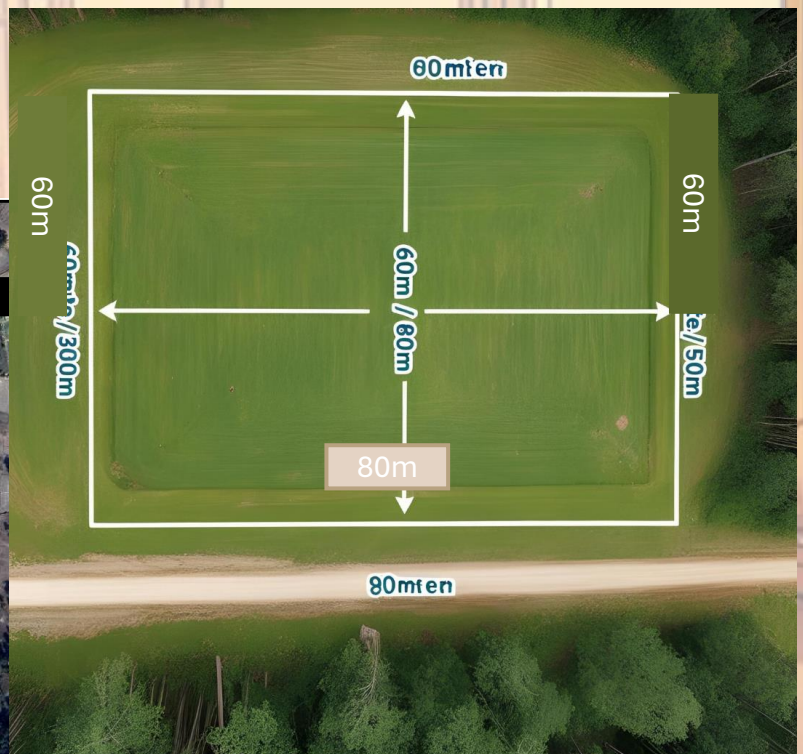
プロットの敷地面積は4,800m²、寸法は60m×80m(長方形)、1階建てです。

土地は平坦で、建設に適しています。土地は洪水から安全なレベルにあり、一年中使用できる未舗装の道路からの主要なアクセスです。

敷地はコミュニティの郊外にあり、学校や家庭から300m以内の場所にあります

公共の水と電気の供給は可能ですが、緊急時の水と電気へのアクセスが危険にさらされる可能性があるため、補完的なシステムを設計する必要があります。

80m



80m

コンペティション

- 金銭面について：

避難所の建設には多額の財政投資が必要ですが、それらの避難所は緊急時にのみ使用されます。避難所を他の目的に使用し、コミュニティの重要なスペースとして機能しながら、緊急時に機能できるようにするために、どのように革新し、確認できるでしょうか？

- メンテナンスについて：

コミュニティは、避難シェルターが適切に維持され、緊急時に使用できるようにする必要があるため、特にリソースが限られている状況では難しい場合があります。必需品の定期的な維持管理と備蓄は重要ですが、常に優先されるとは限りません。

- 環境的および文化的考慮事項について：

避難所の設計と建設は、地域の環境条件と文化的感受性を考慮する必要があります。たとえば、避難所は、その地域に共通する自然災害に耐え、サービスを提供するコミュニティにとって文化的に適切であるべきです。この地域で入手可能な地元の建設資材の使用が奨励されています。

- 多目的利用と持続可能性について：

避難所は緊急時にのみ使用されるため、資源の持続可能性と効率的な使用について懸念があるかもしれません。緊急時以外の時間帯にコミュニティのニーズに対応できる多目的施設の設計など、革新的なソリューションがこの課題に対処するのに役立ちます。

- 災害への強度について：

避難所は自然災害に耐える必要があるため、安全性と耐久性は設計にとって重要な機能である必要があります。目標は、文化的に適切で、環境に優しく、弾力性のある建物を作成し、コミュニティのすべての人々に安全で活気のある空間を提供することです。

このプロジェクトでは、地方自治体、コミュニティ、政府との協力が中心となり、避難所の用地は地方自治体に提供されます。避難所が建設されると、地方自治体は教師の配置やリソースの管理などの運営面を監督し、これらの施設がコミュニティの不可欠な部分になるようにします。



コンペティション

- 避難所について：

- 避難所は、障害者を含む500人を収容する必要があります。
- 設計には、さまざまな活動や人口のための指定されたエリアを含む適切なスペース管理が必要であり、秩序と安全性を維持するのに役立ちます。

- 主な機能について：

- シェルター: 避難者が一時的に滞在するための安全で安心なスペース。これには、適切な寝具を備えた寝室やプライバシーのための設備が含まれ、特に子供連れの家族、高齢者、特別なニーズを持つ個人などの脆弱なグループを対象としています。
- 食料と水:これには、清潔な飲料水と栄養価の高い食品へアクセス可能な、キッチン設備の設置が含まれる場合があります。
- 衛生設備と衛生設備: トイレ、シャワー、手洗い場など、適切な衛生設備。また、衛生状態を維持し、病気の蔓延を防ぐために、適切な廃棄物管理システムを導入する必要があります。
- 医療: 避難期間中に発生する可能性のある軽微な健康問題に対処するためのスペースと機器。これには、応急処置や救急医療に関する規定が含まれます。
- レクリエーションスペースとコミュニティスペース: レクリエーション活動、コミュニティの集まり、避難者の幸福と士気をサポートするための教育プログラムに指定されたエリア。このスペースは、通常の時間にコミュニティシェルター、教育施設、健康とウェルネスサービス、スポーツとレクリエーション、一時的なシェルター、トレーニングとドリル、必要に応じてその他の機能に使用できます。
- ロジスティクスとサプライ: 衣類、毛布、個人用衛生用品、その他の必需品などの必需品の保管および流通システム。

- 将来の計画について：

必要に応じて追加の施設を追加できるように、設計はモジュール式である必要があります。また、参加者は、避難所に付加価値を与えられると思われる追加のスペースを提案することもでき、これは将来の建設段階で検討される可能性があります。

ラオスの気候について：

ラオスは南東モンスーンの影響を受けた熱帯気候で、降雨量が多く、湿度が高いです。この国には主に2つの季節があります。

- 雨季(モンスーン): この季節は5月から10月中旬まで続き、年間降水量の約70%をもたらします。この期間中の日中の平均気温は、低地で約29° C、山岳渓谷で約23° Cです。湿度が高く、田園地帯は緑豊かになります。
- 乾季: 乾季は10月中旬から4月までです。さらに2つの期間に分けることができます。
 - 涼しい乾季: 11月から2月にかけては気温が比較的涼しくなり、観光客に人気の時期です。
 - 暑い乾季: 3月から4月にかけて、気温は最高40° Cに達することがあり、4月が最も暑い月です。

賞



1等賞

6,000USD + 建設

受賞したすべてのプロジェクトとファイナリストは、UNDPとパートナーのブログ、ソーシャルネットワーク、ウェブサイトで公開されます。

すべての受賞プロジェクトとファイナリストには、参加証明書が贈られます。

要件

- このコンペティションは、建築学や工学、環境科学、社会学、デザインなどの分野の日本人と、ラオス人の学生や教授や専門家が参加できます。
- チームは3人のメンバーで構成され、全員が18歳以上である必要があります。
- 各メンバーは英語でコミュニケーションをとることができる必要があります。
- 各チームには1人の建築分野を専門とする教授または専門家が必要です。
- 審査員、専門家、コーチ、メンター、主催者、または彼らに直接関係する人は、このコンペティションに参加することはできません。
- 各国から5チームが選ばれ、他の国のチームとマッチングされ、ラオスでの対面旅行中に協力します。ラオスと日本のチームは、補完的な関心と資格に基づいてマッチングされます。
- ファイナリストチームは、日本人+ラオス人の学生と建築分野の教授か専門家で構成されます。
- 6名(日本から3名、ラオスから3名)のチーム。
- 多様性(性別/民族など)は、チームの形成において強く推奨されています。

日本から
3人の参加者 + ラオスから
3人の参加者

X 5チーム = 30人の参加者
日本から15名
ラオスから15名

1チーム 合計6人の参加者

タイムライン

- ・ 募集期間: 4月2日～4月27日
- ・ ライブストリーム – Q&A: 4月21日
- ・ ファイナリスト発表: 4月30日
- ・ トレーニングとコーチング: 5月5日 – 5月26日
- ・ オーガナイザー&パートナーによるオンライントレーニング: 5月5日と12日
- ・ チーム統合(全5チーム、日本人+ラオス): 5月15日
- ・ オンラインメンターセッション: 5月19日と26日
- ・ カムアン州での2日間のブートキャンプ: 6月10 – 11日
- ・ ビエンチャンでの最終準備とコーチング: 6月12日
- ・ 最終発表会と表彰式: 6月13日

ラオスで行われるミッション（現地訪問）やピッチイベントの際、
日本人およびラオス人のファイナリストに対して、
交通費・食費・宿泊費がすべて主催者側で負担される



応募・提出

参加者は、次のリンクから申請書を提出してください

<https://forms.gle/fJWWYb1MFkqJKZ7f7>

- 提出の際に必要なもの:
 - 1x A1ボード:参加者は、横向きまたは縦向きのA1フォーマットのボード(594x841 mmまたは23.4x33.1インチ)にプロジェクトを提示する必要があります。ボードには、プロジェクトをよりよく理解するのに役立つビジュアルが含まれている必要があります。
 - A1ボードファイルの詳細:ボードは、最大サイズ10MBのJPEGまたはJPG形式で配信する必要があります。
 - PDF形式の2〜A4ページのプロジェクト説明(最大1,000語): プロジェクトのタイトル、チームメンバーの簡単な経歴、コンセプトの説明、機能の説明、革新的なアプローチについての説明、材料、文化的感受性、持続可能性が含まれますが、これらに限定されません。
 - 言語: A1ボードとA4プロジェクト説明書の両方のすべてのテキストは、英語または日本語で書かれている必要があります。

ルールと条件

- 知的財産権について:

参加者は、提出物の知的財産に対する権利を保持します。ただし、参加することにより、彼らは私たちのプラットフォームに、プロジェクトをあらゆる形式およびあらゆる配布媒体を通じて複製、公開、および配布するためのグローバル、無料、非独占的なライセンスを付与します。主催者は、プロジェクトの著者に適切な帰属を与えることを確認します。建設されることを選択したプロジェクトの作者は、主催者と請負業者に、それを建設し、必要に応じて実際のニーズに合わせて変更する権利を与えます。
- 著作権フリーの画像の使用について:

参加者は、提出物に使用されている画像または資料が著作権フリーであることを確認する責任があります。主催者は、参加者による著作権侵害について一切の責任を負いません。
- コンペティション・ルールの変更について:

主催者は、現行の法律に従って、コンペティション・ルールをいつでも変更する権利を留保します。すべての変更はウェブサイトで公開され、参加者を拘束します。
- コンペティションをキャンセルする権利について:

主催者は、登録の欠如またはその他の正当な理由により、コンペティションをキャンセルする権利を保持します。
- 利用規約の遵守について:

参加者は、このコンペティション概要に記載されている規約を遵守する必要があります。これに従わない場合、失格となる場合があります。
- 第三者による使用に関する免責事項について:

主催者は、参加者の提出物が第三者によって使用された場合、その責任を負いません。これには、第三者による共有や検索エンジンによるインデックス登録も含まれます。